



株式会社 UKCホールディングス 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス
 コード番号 3156 URL <http://www.ukcgroup.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部門、財務部、
 総務人事部門担当 (氏名) 田口 雅章 TEL 03 (3491) 6575
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	66,322	△8.8	1,839	83.5	1,416	54.5	876	42.3
24年3月期第1四半期	72,718	1.0	1,002	△12.2	917	△15.5	615	0.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 560百万円 (57.6%) 24年3月期第1四半期 355百万円 (116.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	55.82	—
24年3月期第1四半期	39.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	114,515	39,683	34.4	2,508.96
24年3月期	104,385	39,671	37.7	2,505.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 39,389百万円 24年3月期 39,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	△2.7	2,600	19.1	2,400	39.6	1,400	90.0	89.17
通期	275,000	7.0	5,700	5.8	5,300	5.8	3,100	13.9	197.45

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	15,700,021株	24年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	608株	24年3月期	608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	15,699,413株	24年3月期1Q	15,699,718株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法について)

決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 追加情報	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果もあり、企業活動や個人消費の一部に緩やかな回復基調がみられました。一方、長期化する原発問題や、欧州の財政危機に端を発した金融不安に加えて、中国をはじめとした新興国の経済成長にも鈍化傾向が見られる等、景気は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましても、スマートフォンやタブレット端末などの一部に堅調な需要がみられましたが、テレビを中心としてデジタル家電の国内販売は依然として低調で、本格的な回復に至っておりません。

このような状況の下、当社グループは、中核事業であるソニー製の半導体・電子部品事業をさらに強化するとともに、EMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大に取り組んでまいりました。平成23年7月に実施した子会社事業の譲渡の結果、前年同四半期と比較すると売上高は減少したものの、高付加価値製品の売上比率が拡大したことにより、営業利益・経常利益・四半期純利益が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 663 億 22 百万円（前年同期比 8.8%減）、営業利益は 18 億 39 百万円（前年同期比 83.5%増）、経常利益は 14 億 16 百万円（前年同期比 54.5%増）、四半期純利益は 8 億 76 百万円（前年同期比 42.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、平成23年7月1日付で当社連結子会社である株式会社ユニデバイスが営んでいた事業を丸文セミコン株式会社へ譲渡したことに伴い、売上高は減少いたしました。その一方で、スマートフォン向けタッチパネルの販売や液晶モジュールの基板実装受託（EMS事業）等の比較的付加価値の高い事業が伸長した結果、セグメント利益は大幅に増加いたしました。

以上の結果、売上高は 632 億 84 百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は 24 億 13 百万円（前年同期比 52.6%増）となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、顧客の設備投資が依然として低調なため、売上高は減少いたしました。その一方で、付加価値の高いシステム製品の販売が伸長したことにより、セグメント損失は改善いたしました。なお当事業につきましては、顧客層の特性上、第1四半期と第3四半期は、第2四半期と第4四半期に比して売上・利益ともに低調に推移する傾向があります。

以上の結果、売上高は 25 億 96 百万円（前年同期比 10.9%減）、セグメント損失は 1 億 82 百万円（前年同期比 9 百万円の改善）となりました。

・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、顧客の投資意欲の停滞もあり、業績は低調に推移いたしました。一方、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、試験数や太陽電池関連等の新規案件の増加に伴い、業績も比較的好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は 4 億 41 百万円（前年同期比 2.7%減）、セグメント利益は 57 百万円（前年同期比 17.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して 101 億 30 百万円増加し、1,145 億 15 百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加 96 億 71 百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末と比較して 101 億 17 百万円増加し、748 億 31 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加 35 億 77 百万円、短期借入金の増加 65 億 30 百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して 12 百万円増加し、396 億 83 百万円となりました。これは主に、四半期純利益 8 億 76 百万円、利益剰余金からの配当 5 億 49 百万円、その他有価証券評価差額金の減少 60 百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額 94 百万円、少数株主持分の減少 48 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の連結業績予想は、当初の予想を上回る進捗率で推移いたしました。現段階では平成24年5月9日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を据え置きます。平成24年6月15日公表の希望退職者募集の結果も合わせ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

従来、税金費用については、主に当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりましたが、四半期連結累計期間の税金費用をより適切に計算することを目的として、当第1四半期連結累計期間より年度決算と同様の原則的な会計処理に変更しております。なお、遡及調整を行った場合の影響が軽微なため前第1四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,925	13,773
受取手形及び売掛金	61,015	70,686
商品及び製品	16,081	20,015
仕掛品	352	693
原材料及び貯蔵品	458	367
その他	3,729	3,844
貸倒引当金	△101	△123
流動資産合計	99,461	109,258
固定資産		
有形固定資産	1,787	1,945
無形固定資産	300	322
投資その他の資産		
投資有価証券	1,803	1,919
その他	1,209	1,246
貸倒引当金	△177	△177
投資その他の資産合計	2,835	2,988
固定資産合計	4,923	5,256
資産合計	104,385	114,515
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,837	42,415
短期借入金	14,817	21,347
未払法人税等	1,492	634
賞与引当金	527	224
その他	2,930	3,324
流動負債合計	58,605	67,947
固定負債		
長期借入金	4,865	5,667
退職給付引当金	588	605
役員退職慰労引当金	34	35
その他	620	576
固定負債合計	6,108	6,884
負債合計	64,714	74,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	30,061	30,217
自己株式	△0	△0
株主資本合計	40,787	40,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	156
為替換算調整勘定	△1,676	△1,710
その他の包括利益累計額合計	△1,459	△1,553
少数株主持分	342	294
純資産合計	39,671	39,683
負債純資産合計	104,385	114,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	72,718	66,322
売上原価	68,827	61,784
売上総利益	3,891	4,537
販売費及び一般管理費	2,889	2,698
営業利益	1,002	1,839
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	28	19
仕入割引	30	1
その他	54	72
営業外収益合計	116	100
営業外費用		
支払利息	68	69
売上債権売却損	6	7
為替差損	116	435
その他	10	10
営業外費用合計	201	523
経常利益	917	1,416
特別利益		
固定資産売却益	—	1
負ののれん発生益	29	—
投資有価証券売却益	159	—
その他	5	—
特別利益合計	194	1
特別損失		
固定資産処分損	2	1
減損損失	1	—
事業譲渡損	90	—
退職特別加算金	94	—
その他	0	2
特別損失合計	189	3
税金等調整前四半期純利益	922	1,414
法人税等	376	580
少数株主損益調整前四半期純利益	545	834
少数株主損失(△)	△70	△42
四半期純利益	615	876

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	545	834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	△60
繰延ヘッジ損益	19	—
為替換算調整勘定	△20	△212
その他の包括利益合計	△189	△273
四半期包括利益	355	560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416	606
少数株主に係る四半期包括利益	△60	△45

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

希望退職者の募集

当社は、平成24年6月15日開催の取締役会において、下記のとおり、希望退職者の募集について決議いたしました。

1. 希望退職の理由

当社が所属するエレクトロニクス業界は、デバイス、製品分野を問わず、大きな構造変化にさらされております。その中で、当社は経営統合を通じて、成長戦略の推進と経営体質の強化に取り組んでまいりました。しかし、このような経営環境下において、持続的な成長を遂げるためには、成長戦略に沿った経営資源の集中とともに、オペレーション効率の抜本的な改善が必要と判断し、希望退職者の募集を行うことを決定いたしました。

2. 希望退職者募集の概要

- (1) 対象者 : 当社及び国内グループ会社の正社員
- (2) 募集人員 : 60名程度
- (3) 募集期間 : 平成24年8月22日から平成24年8月31日
- (4) 退職日 : 平成24年9月30日
- (5) 優遇措置 : 特別加算金を支給
- (6) 再就職支援 : 希望者に対し、再就職支援会社等を通じて再就職支援を実施

3. 損益に与える影響

平成25年3月期の業績に与える影響としては特別加算金の支給等に伴う特別損失が見込まれますが、現時点では応募者数が未定であるため影響額は確定しておりません。

(6) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	半導体及び電子部品	電子機器	システム機器	計
売上高				
外部顧客への売上高	69,351	2,913	453	72,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	69,351	2,913	453	72,718
セグメント利益又は損失(△)	1,581	△192	48	1,437

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,437
セグメント間取引消去	109
全社費用(注)	△544
四半期連結損益計算書の営業利益	1,002

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	半導体及び電子部品	電子機器	システム機器	計
売上高				
外部顧客への売上高	63,284	2,596	441	66,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	63,284	2,596	441	66,322
セグメント利益又は損失（△）	2,413	△182	57	2,287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,287
全社費用（注）	△447
四半期連結損益計算書の営業利益	1,839

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。